

# 桜環境新聞

## さくらエコまつり2022

### 「春のめぐりめぐるWA市」開催

3月23日(水)～4月2日(土)、「さくらエコまつり2022」ひとつひとつ「たいせつに」を開催します。今、大切なエコのこと。3Rのこと、SDGsのこと。また、古いものを利用して新しいものづくりを行っている、一



閑張りの「一閑張りを広める会」、着物リメイクの「ゲループ」「好和」、金継ぎの「桜金継ぎサークル」、布ぞうりの「さくら布ぞうりの会」、吊るし雛・和の小物の「布遊びの会」

**さいたま市 桜環境センター**  
〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開4-2-1  
9:00～17:00(月曜休館)  
【環境啓発施設】  
Tel:048-710-5345(休館日除く)  
【余熱体験施設】  
Tel:048-710-5344(休館日除く)  
【施設見学・持込・その他】  
Tel:048-710-6010  
【ホームページ】  
<https://sakura-kc.saitama.jp/>

## GWはエコと家族の日

4月27日(水)～5月5日(木・祝)、「GWはエコと家族の日」は「さぼろう」を開催します。

5月1日(日)は「さいたま市民の日」。余熱体験施設3～4階の入館が無料になり、レストランでは「ふかひれフェア」を開催します。レストランを利用する小学生以下のお子様にはフライドポテトのSカップをプレゼント!

4月2日(土)の10～14時には、多目的広場で「春のめぐりめぐるWA市」を開催!(※雨天中止)

「桜エコ・フェスタ2021」に参加した団体を中心に、様々なお店が並びます。手づくりのパンや旬の野菜、个性的な手工芸品などの販売と、ワークショップを開催し、チンドンバンドが会場を盛り上げます。鴨川堤桜通りの桜が咲き誇る春の美しい時期です。どうぞご来場ください。

GWはエコと家族の日

### はらっぱであそぼう

GWは家族で、近くにある自然の中であそびませんか。桜環境センターのまわりは、新緑が芽吹き、花が咲き、小さな生き物であふれています。小さな自然に、その手で触れてみてください

- 4/29(金・祝)**  
シーオそでで 田んぼの種まき(無料)
- 5/1(日)**  
よく飛ぶ「エコ風」作り & 飛ばし体験
- 5/5(木・祝)**  
シーオそでで 外来種でトライ! 花かんむり作り (土日先着20名)

祝/さいたま市民の日  
5/1(日)は3階余熱体験施設で特設あり!

2022年4月27日(水)～5月5日(木・祝) 9:00～17:00(最終日は15:00) 月曜休館

さいたま市桜環境センター (桜環境センター)  
〒338-0834 さいたま市桜区新開4丁目2番1号  
TEL:048-710-5345 FAX:048-088-0387  
E-mail: info@sakura-kc.saitama.jp

環境啓発施設 公式SNSアカウント

Facebook Instagram

環境啓発施設 E-mail  
sakura@com-sup.com



### 桜始開

「三月26～30日頃」

桜前線が北上し、桜のつぼみが次々とほころんでいく頃。2022年のさいたま市の開花予想日は3月22日(火)頃です。

桜環境センター前の鴨川堤桜通り公園の桜並木もまもなく満開を迎えます。そぞろ歩きをお楽しみください。

### フードドライブ

家に余っている食品はありませんか?  
お持ちいただければフードパントリーにつなぎ、必要とされている方にお届けします!

※寄付したいものがある時は、桜環境センター2階までお持ちください。持ち込みの際は、事前にご連絡ください。

# 春の息吹を感じる

## 「ジーオそだて隊」



田んぼの種まき

暖かくなり、生きものの活動が活発化してきたビオトープ「シーオ」。スマレ、ツクシなどのなじみ深い春の植物に混ざり、絶滅危惧種のアマナ、タコノアシ、ミゾコウジュなども芽生えています。

2021年度まで実施していた「田んぼクラブ」は、2022年度から「シーオそだて隊」に統合します。各作業ごとに参加者を募集しますのでお楽しみに！

- 3月27日(日) 13時半～14時半 「春の目覚めの生きもの調査」(当日先着20名)
- 4月29日(金・祝) 10時～11時半 「田んぼの種まき」
- 4月5日(火)、6日(水)、各日10～12時に電話で要予約(先着15名)
- 5月5日(木・祝)、19日(木) 10時～11時半 「外来植物でトライ！花かんむり作り」(当日先着20名)

5月15日(日) 13時半～14時半 「初夏の生きもの大調査」(当日先着20名)

持ちもの＊虫取り網、虫カゴ、(2回目以降の方)スタンプカード、軍手。4月はスコップも。服装＊汚れてもよい服装。3・5月は動きやすい長袖長ズボン。



シロツメクサの花かんむり

### 桜環境センターの利用団体紹介

## 布遊びの会 さくら

### 仲間と作る楽しさ

2016年に桜環境センターの講座から始まった「布遊びの会さくら」。毎月2回集まってつるし雛や和小物を作っています。つるし雛は江戸時代、子の健やかな成長を願う端午祭などを縫い合わせて作っていたもの。題材は人形、動物、花など身近なもので、百種類以上あり、その一つ一つに意味があります。


### 端布も大切にす文化

素材となる着物は、譲り受けたり、リサイクルショップで購入するなどして、少しずつ集めたもの。小さな生地でも最後まで大切に使うことができます。作品のなかで使う色の組み合わせを考えるのも楽しいのひとつ。普段は考えつかないような色合わせも、皆で作ると予想外によく納



まることがあり、新しい発見があるそうです。

### 着物文化を世界に

代表の福島啓子さんは、会を始める前から海外のお友だちに、つるし雛や着物を通して日本文化を紹介していました。朝顔や桜、鳩、金糸を入れた鶴のつるし雛は、お祝いや留学生へのおみやげにも喜ばれているそうです。出来上がったときの皆の喜ぶ顔を見るのが嬉しく、作る支えになっっているのだと言います。  
\*\*\*\*\*  
●布遊びの会さくらを、より詳しく紹介しているHPはこちら。  


知っているようで知らない

## 【ごみの正しい出し方】

### スプレーかん

殺虫剤、制汗剤、消火剤、ヘアースプレー、シェービングクリーム、塗料スプレーかん、ペンキのスプレーかんなどの「スプレーかん」は、「有害危険ごみ」です。

もえるごみ、もえないごみなどに混ざって回収されると発火の原因になり、ごみ収集車やごみ焼却炉に多大なダメージを与えてしまいます。



中身を使い切って透明な袋に入れて出す

ごみに出す際は、中身を使い切ってから「有害危険ごみ」の日にスプレーかんだけを透明な袋に入れて出します。どうしても中身が残ってしまう場合には、袋に「中身あり」と書いた張り紙をつけてください。

なお、ご自身で穴あけをすると爆発の危険がありますので、絶対に行わないでください。



穴あけは危険なので絶対にやらない